



2023年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年4月14日

上場会社名 Shinwa Wise Holdings株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2437 URL <https://www.shinwa-wise.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 倉田 陽一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 岡崎 奈美子 TEL 03-5537-8024
 四半期報告書提出予定日 2023年4月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年5月期第3四半期の連結業績（2022年6月1日～2023年2月28日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年5月期第3四半期	2,117	46.6	228	753.2	277	530.5	181	-
2022年5月期第3四半期	1,443	△14.6	26	-	43	-	△35	-

(注) 包括利益 2023年5月期第3四半期 178百万円 (-%) 2022年5月期第3四半期 △36百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年5月期第3四半期	18.29	16.97
2022年5月期第3四半期	△4.11	-

(注) 2022年5月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	
2023年5月期第3四半期	5,088	3,357	65.7	332.07
2022年5月期	4,158	3,023	72.2	311.23

(参考) 自己資本 2023年5月期第3四半期 3,342百万円 2022年5月期 3,003百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年5月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2023年5月期	-	0.00	-	-	-
2023年5月期（予想）	-	-	-	-	-

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2023年5月期の配当予想は未定としております。

3. 2023年5月期の連結業績予想（2022年6月1日～2023年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	2,925	11.2	516	26.2	516	22.4	306	111.9

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年5月期3Q	10,066,518株	2022年5月期	9,651,518株
② 期末自己株式数	2023年5月期3Q	ー株	2022年5月期	ー株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年5月期3Q	9,935,785株	2022年5月期3Q	8,719,466株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2022年6月1日~2023年2月28日)における世界経済は、世界的な物価高と金融政策の引き締めによる内需の下振れに加え、新型コロナウイルス感染拡大による中国経済の一時的な失速もあり、緩やかに減速しています。

わが国内の経済においては、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、海外からの入国制限の緩和など、経済活動の再開を促す措置が講じられ、小幅ながら景気回復基調が維持されています。しかし、エネルギー価格の高騰や物価高の悪影響による国内の実質所得の減少が続く中、鈍い回復ペースに留まっています。

そのような状況の中、アート関連事業において、取扱高は前年と比べ、大きく増加いたしました。その中でも、オークション事業は、前年同期と比し、64.3%増の50億969万円となりました。オークション事業の新しい柱と位置付けるコンテンポラリーアート(現代美術)も活況をみせ、前年同期と比し、147.7%増の結果となりました。また、前期の半ばより連結子会社となったアイアート株式会社も大きく貢献し、Shinwa Auction株式会社とともにオークション事業の強化を推進しております。

プライベートセール・その他事業は、資産防衛ダイヤモンドを中心に順調に売上を伸ばしております。

その他事業では、自社所有の売電事業及びマレーシアでのPKS事業を継続しております。

前期第4四半期から業務を開始したEdoverse株式会社は、Edoverse Foundationが行うメタバース空間開発やデジタルツインのコンサルティング業務を積極的に推進し、同Foundationが目指す江戸のメタバース空間構築の早期実現に向け、コンサルティング業務を進めております。現在、会計処理等に時間を要しておりますが、今年度中に売上を計上する予定です。

セグメント別の業績は次のとおりです。

①アート関連事業

当第3四半期連結累計期間は、取扱高6,100,346千円（前年同期比52.4%増）、売上高1,931,514千円（前年同期比35.7%増）、セグメント利益334,237千円（前年同期比79.2%増）となりました。

種別の業績は次のとおりです。

種別	第34期第3四半期連結累計期間							
	自 2022年6月1日 至 2023年2月28日							
種別	取扱高 (千円)	前年比 (%)	売上高 (千円)	前年比 (%)	オークション 開催数	オークション 出品数	オークション 落札数	落札率 (%)
近代美術オークション	1,293,880	39.7	243,133	50.8	4	282	244	86.5
近代陶芸オークション	395,200	△22.0	68,082	△19.9	3	533	452	84.8
近代美術PartⅡオークション	143,670	54.8	31,949	68.5	4	493	459	93.1
コンテンポラリーオークション	540,720	147.7	101,031	165.7	4	145	126	86.9
その他オークション	818,960	120.9	173,406	120.7	8	2,093	1,921	91.8
アイアートオークション	1,817,265	94.7	345,992	107.4	4	984	795	80.8
オークション事業合計	5,009,695	64.3	963,594	75.7	27	4,530	3,997	88.2
プライベートセール	990,562	4.2	907,994	5.3				
その他	100,089	-	59,925	392.8				
プライベートセール・ その他事業合計	1,090,651	14.2	967,920	10.7				
アート関連事業合計	6,100,346	52.4	1,931,514	35.7				

(注) 1. 取扱高の前年比と売上高の前年比の乖離の大きな要因のひとつに、商品売上高の増減があります。商品売上高は、オークション落札価額に対する手数料収入、カタログ収入、年会費等と同様に売上高を構成する要素のひとつであり、在庫商品を販売した場合、その販売価格（オークションでの落札の場合には落札価額）を商品売上高として、売上高に計上することとしております。

2. その他オークションは、出品の状況により随時開催しております。

3. アート関連事業の事業構造として、オークションが第2四半期及び第4四半期に多く開催される傾向があるため、四半期連結会計期間別の業績には季節的変動があります。

i) オークション事業

当第3四半期連結累計期間は、オークションの開催回数は27回（前年同期は25回）でした。内訳は、近代美術オークション、近代美術PartⅡオークション、コンテンポラリーアートオークション、及びアイアートオークションを各4回、近代陶芸オークション、及びワイン・リカーオークションを各3回、MANGAオークションを2回、西洋美術オークション、Bags/Jewellery&Watchesオークション、及びアバターオークションを各1回です。

近代美術オークションは、出品点数29.5%減、落札点数19.5%減となりました。しかし、エスティメイト下限合計額に対する落札価額合計額の比率は、平均で148.9%と例年同様の水準で推移し、平均落札単価は72.9%増となりました。

近代陶芸オークションは、出品点数24.7%減、落札点数27.4%減となりましたが、平均落札単価は前年比で5.6%増となりました。エスティメイト下限合計額に対する落札価額合計額の比率は、平均で123.4%と高水準で推移いたしました。

近代美術Part IIオークションは、出品点数20.1%減、落札点数13.6%減となりましたが、平均落札単価は前年比で166.1%増加いたしました。エスティメイト下限合計額に対する落札価額合計額の比率は、平均で363.0%と高水準で推移いたしました。

コンテンポラリーアートオークションは、出品点数59.3%減、落札点数59.6%減となりましたが、平均落札単価は前年比で613.0%増加し、エスティメイト下限合計額に対する落札価額合計額の比率は、平均で152.7%と高水準で推移いたしました。

その他オークションでは、ワイン・リカーオークションは、開催回数が昨年と比し1回多く、出品点数95.2%増、落札点数101.4%増となりました。2月に行われたワイン・リカーオークションの取扱高は、過去最高の240,970千円となりました。平均落札単価は50.2%増加となり、エスティメイト下限合計額に対する落札価額合計額の比率は126.8%という高水準で推移しました。

アイアートオークションは4回開催し、出品点数984点、落札点数795点、落札率80.8%という内容になりました。このアイアート株式会社の子会社化により、売上高が179,132千円増となり、連結決算に大きく貢献いたしました。

ii) プライベートセール・その他事業

プライベートセール・その他事業では、当第3四半期連結累計期間は、資産防衛ダイヤモンド販売事業と美術品のプライベートセールで売上を伸ばしました。資産防衛ダイヤモンド販売事業は、売上高511,110千円（前年同期比52.4%増）と、資産防衛としてのダイヤモンドの需要の高まりから、引き続き順調に売上をのばしております。

結果として、プライベートセール・その他事業は、前年比で取扱高14.2%増、売上高10.7%増で推移しました。

②その他事業

子会社保有の太陽光発電施設による売電事業は21,094千円、またマレーシアにおけるPKS事業では164,465千円の売上となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間のその他事業のセグメント売上高は185,560千円（前年同期比783.7%増）、13,080千円のセグメント利益（前年同期間は45,217千円のセグメント損失）となりました。

その他、各事業の販売費及び一般管理費の見直しを行う等、グループ全体の利益体質化に向けた改善に取り組み、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高2,117,075千円（前年同期比46.6%増）、営業利益228,858千円（前年同期比753.2%増）、経常利益277,359千円（前年同期比530.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益181,755千円（前年同期間は35,891千円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、5,088,241千円となり、前連結会計年度末と比べ929,979千円増加いたしました。その主な内訳はオークション未収入金の増加565,046千円、商品の増加308,129千円、その他流動資産の増加185,265千円、前渡金の増加116,366千円、現金及び預金の減少183,689千円であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、1,730,725千円になり、前連結会計年度末と比べ596,010千円増加いたしました。その主な内訳はオークション未払金の増加674,960千円、その他流動負債の増加245,975千円、未払法人税等の減少117,514千円、短期借入金の減少100,000千円であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は3,357,515千円になり、前連結会計年度に比べ333,968千円増加いたしました。その主な内訳は利益剰余金の増加181,755千円、資本金の増加80,302千円、資本剰余金の増加80,302千円、その他有価証券評価差額金の減少5,532千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

- ・2022年7月13日に発表いたしました連結業績予想について変更はありません。
- ・前期第4四半期から業務を開始したEdoverse株式会社は、Edoverse Foundationが行うメタバース空間開発やデジタルツインのコンサルティング業務を積極的に推進し、早期に同Foundationが目指す江戸のメタバース空間構築の早期実現に向け、コンサルティング業務を進めております。なお、Edoverse株式会社がコンサルティング業務を行っているEdoverse Foundationはパナマ法人であるため、会計処理等に時間を要しており、売上計上を見送っております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,312,473	1,128,783
売掛金	93,036	115,177
オークション未収入金	44,119	609,166
商品	1,172,144	1,480,274
前渡金	9,988	126,354
その他	245,988	431,253
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	2,877,748	3,891,007
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	36,688	30,035
機械装置及び運搬具(純額)	19,633	2,999
土地	12,900	12,900
その他(純額)	24,526	26,684
有形固定資産合計	93,748	72,619
無形固定資産		
ソフトウェア	26,840	20,108
のれん	724,163	675,885
無形固定資産合計	751,003	695,994
投資その他の資産		
関係会社株式	60,600	60,600
投資有価証券	115,735	107,761
繰延税金資産	162,015	138,581
その他	210,769	235,035
貸倒引当金	△113,359	△113,359
投資その他の資産合計	435,761	428,619
固定資産合計	1,280,512	1,197,233
資産合計	4,158,261	5,088,241
負債の部		
流動負債		
買掛金	20,659	47,487
オークション未払金	84,744	759,705
短期借入金	100,000	—
1年内償還予定の社債	5,000	—
1年内返済予定の長期借入金	31,228	31,228
未払法人税等	177,508	59,994
賞与引当金	38,271	16,697
役員賞与引当金	36,500	—
その他	267,994	513,969
流動負債合計	761,907	1,429,081
固定負債		
長期借入金	273,429	250,008
退職給付に係る負債	30,333	33,356
訴訟損失引当金	49,925	—
その他	19,120	18,279
固定負債合計	372,807	301,643
負債合計	1,134,714	1,730,725

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,594,264	1,674,567
資本剰余金	1,315,470	1,395,772
利益剰余金	79,538	261,293
株主資本合計	2,989,273	3,331,633
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	8,093	10,213
その他有価証券評価差額金	6,495	963
その他の包括利益累計額合計	14,588	11,176
新株予約権	19,684	14,704
純資産合計	3,023,546	3,357,515
負債純資産合計	4,158,261	5,088,241

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2022年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)
売上高	1,443,897	2,117,075
売上原価	684,639	990,367
売上総利益	759,257	1,126,707
販売費及び一般管理費	732,433	897,849
営業利益	26,824	228,858
営業外収益		
受取利息	230	369
未払配当金除斥益	252	—
デリバティブ評価益	1,734	1,375
法人税等還付加算金	566	—
受取査定報酬	552	—
為替差益	11,681	5,171
暗号資産評価益	6,148	—
匿名組合投資利益	—	30,415
その他	739	15,773
営業外収益合計	21,905	53,104
営業外費用		
支払利息	4,234	2,612
支払手数料	170	—
暗号資産評価損	—	839
その他	336	1,152
営業外費用合計	4,740	4,603
経常利益	43,988	277,359
特別利益		
投資有価証券売却益	62,285	37,574
特別利益合計	62,285	37,574
特別損失		
訴訟関連損失	—	5,646
貸倒損失	44	—
補修工事関連費用	3,090	—
和解金	13,500	—
訴訟損失引当金繰入額	49,925	—
その他の投資評価損	500	—
その他	—	114
特別損失合計	67,061	5,761
税金等調整前四半期純利益	39,213	309,173
法人税、住民税及び事業税	69,869	101,542
法人税等調整額	5,235	25,875
法人税等合計	75,105	127,417
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△35,891	181,755
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△35,891	181,755

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2022年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△35,891	181,755
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,947	△5,532
為替換算調整勘定	△13,132	2,120
その他の包括利益合計	△185	△3,411
四半期包括利益	△36,077	178,343
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△36,077	178,343

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束見通し時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年6月1日 至 2022年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 2	四半期連結 財務諸表計上額
	アート関連事業	その他事業			
売上高	1,422,900	20,997	1,443,897	-	1,443,897
セグメント利益又は損失(△)	186,543	△45,217	141,325	△114,500	26,824

(注) セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△114,500千円であります。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「アート関連事業」セグメントにおいて、第2四半期連結会計期間にアイアート株式会社の全株式を取得し連結子会社としました。なお、当該事象によるのれんの増加額は当第3四半期連結累計期間においては811,437千円であります。なお、のれんの金額は、企業結合日時点の識別可能資産及び負債の特定及び時価の見積りが未了であるため、取得原価の配分が完了しておらず、暫定的に算定された金額であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 2	四半期連結 財務諸表計上額
	アート関連事業	その他事業			
売上高	1,931,514	185,560	2,117,075	-	2,117,075
セグメント利益	334,237	13,080	347,317	△118,458	228,858

(注) セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△118,458千円であります。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。